

東都医療大学図書館通信



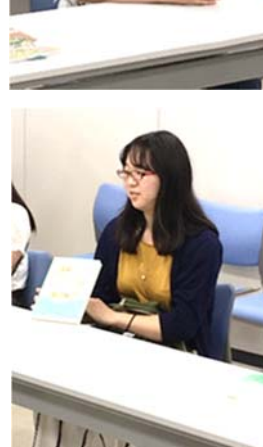
第5回 学生選書ツアーが開催されました!

2017年9月8日(金) 紀伊國屋書店新宿本店にて



去る9月8日(金)、紀伊國屋書店新宿本店にて第5回学生選書ツアーが開催されました。参加してくれた学生さんはなんと9名! 過去最大の人数で、にぎやかなツアーとなりました。選書後には初の試みとして「お気に入りの1冊」を紹介し合うディスカッションを実施。皆さんが紹介してくれた本はどれも興味深く、早く手にとって読んでみたいものばかりでした。このディスカッションのなかで、先生方からお話いただいた「読書がなぜ大切か」「本に触れることが、どのように看護医療の現場で生かされていくのか」などは、皆さんの心に深く響いたことでしょう。参加してくれた学生の皆さん、ご同行くださった先生方、そしてご協力いただきました紀伊國屋書店新宿本店様、ありがとうございました。選書ツアーで購入した本は、図書館「学生選書コーナー」「みんなのイチオシ本コーナー」に配架されます。どんな本が選書されたか、ぜひ見に来てください!

 選書風景とディスカッションの様子です。



 学生選書ツアーに参加された皆さんからの感想です。

看護についての本をはじめ、たくさん本を手にとり、自分に合った本や必要な本を選ぶことができ本当に良かった。実際に本屋さんでたくさん本を見ていると、自分の知らない自分好みの本に出合えることもできたので、ためになりました。

学校に貢献できて嬉しいが、自分もたくさんのことを学べて（知らない本がまだまだ多くあることや、最後に行ったディベートなど）プラスになり、ためになった。本屋や図書館はとても好きなので、これからも利用していきたいと思う。

限られた時間で本を選ぶことは難しかったけど、良い本を見つけることができよかった。


普段自分では買わない少し高い本を選べたり、読みたい本を我慢することなく選ぶことができ、とても楽しかったです。

紀伊國屋書店新宿本店に初めて行ったので、本の多さに驚いた。自分が読みたい本を選べたので、とても楽しかった。

今回は参加した他の人たちの選書した本をみることができ、また、理由も聞くことができたので、自分の読みたい本、気になる本の幅が広がって良かったです。

看護についての本がたくさんあり、見ていてとても興味深いものばかりだったので、参加できてよかったです。これを機にもっと本を読みたいと思うようになりました。

学外での活動のため、友人や先生方とのプライベートな交流ができ、有意義な時間を過ごすことができました。選書後、各々が選書した本を紹介し合うことで、一層交流が深まったように感じます。友人や先生の意外な一面を覗けたり、本とじっくり向き合ったり、普段では経験できない素敵な時間を過ごすことができました。本を普段あまり読まない方も、たくさん読む方も、選書ツアーで自分のお気に入りの本を見つけて欲しいです!!

 9月中旬～10月中旬までに納品された図書・雑誌など

《図書》

- 『これだけは覚える看護師国試必修問題 2018』
- 『女性白書 2017』『少子化社会対策白書 平成 29年版』
- 『産業保健ハンドブック 改訂 15 版』『発達障害白書 2018』
- ※ 前期にリクエストいただきました図書につきましては、9月末日に漸く納品となり、図書館内に配架させていただきました。ぜひご利用ください。
- ※ 学生選書ツアーで皆さんに選書いただいた本は、10月下旬頃納品予定です。届くまでもう少しお待ちくださいますよう、お願い申し上げます。

《雑誌》 ※下記 OPAC をご参照ください。

<http://www.lib-finder2.net/tohto/servlet/New?findtype=1>

看護・医療系図書が 10%OFF で購入できます!

展示販売のお知らせ(後期)

展示販売	納品
10月は終了しました。	
11/7(火)	⇒ 11/14(火)
12/5(火)	⇒ 12/12(火)

時間 : 12:30 ~ 13:10

場所 : 1F 食堂

書店 : 廣川書店

TEL : 027-322-4804

Mail : takasaki@hiro-kawa-books.co.jp

※日程変更等生じた場合は、別途お知らせ致します。



『風が強く吹いている』
三浦しをん/著、新潮社/刊



『やり抜く力』
アンジェラ・ダックワース著 神崎朗子訳、ダイヤモンド社/刊

あきらめない気持ち、思い出しませんか

成人看護学領域 准教授 中村織恵

秋です。行楽、読書、スポーツと何をするにもよい季節ですが、今年は雨が多くなかなか外での活動ができませんね。そこで読書を通じて、スポーツの体感はいかがでしょう？

スポーツを題材とした小説は数多く出版されていますが、私の一番のおすすめは三浦しをん著、箱根駅伝が舞台の『風が強く吹いている』（新潮社）です。「箱根駅伝」＝東京箱根間往復大学駅伝競走は、例年1月2日と翌3日の2日間にわたって行われる大学駅伝

の関東圏の地方大会です。地方大会でありながら、正月恒例の一大イベントとして全国区でテレビ中継がされていることからご存知の方が多いと思います。「箱根駅伝を走りたい!」、高校時代のケガに苦しみながら消すことができなかった灰二の想いが、天才ランナー走と出会って動き出す。十人の個性あふれるメンバーが、長距離を走ること（＝生きること）に夢中で突き進む。この本で描かれる疾風感は、同じ大学生である皆さんに自分の限界への挑戦、何かを目指して頑張ることの爽快さを感じさせてくれるはず。そして走るとはたった一人の戦いであるはずなのに、それは実は仲間との繋がりに支えられていることに気づくとき、特に4年生の皆さんの孤独な国家試験勉強の支えになると思います。

ところで、この本の主人公「灰二」が持つ「やり抜く力」が、人生でとても大切であることを証明した本があります。米国内では「天才賞」とも称されるマッカーサー賞を受賞したペンシルベニア大学心理学アンジェラ・ダックワース教授、がその研究成果をまとめた『やり抜く力』（神崎朗子訳 ダイヤモンド社 2016/9）です。この本ではどの分野であれ、人々が成功して物事を達成するには、「才能」よりも「やり抜く力」が重要であると指摘しています。また、この「やり抜く力」は「情熱」と「粘り強さ」という要素でできているとダックワースは説いています。

さあ、大学4年間、長くてそしてとても短い時間です。大学を目指していたころの「情熱」思い出し、あきらめない「粘り強さ」をもって大切に過ごしましょう。



北斎とジャポニスム HOKUSAIが西洋に与えた衝撃

コスモス畑

モネ、ドガ、セザンヌ…みんなHOKUSAIに学んだ—19世紀後半に西洋で新しい表現を求める芸術家たちを魅了した日本美術。その技巧は高く評価され、「ジャポニスム」という現象が生まれました。なかでも葛飾北斎(1760-1849)は「世界のHOKUSAI」と称されるほど特別な存在。人物も、動植物も、風景も、建築も描くことができた北斎は、他の絵師と比べて圧倒的な人気を誇りました。本展は、北斎に刺激をうけた西洋美術の名品約220点と北斎が描いた傑作約110点とが一堂に会する、夢のような展覧会です(会期中、展示替えあり。出品点数は予定。)。日本の天才浮世絵師・葛飾北斎がいかに世界に影響を与えたか—皆さんも自身の目で確かめてみませんか? 名だたる西洋の芸術家の作品と北斎の名品の数々をぜひこの機会にご鑑賞ください。

夏のような暑さから一転、急に冷え込みの厳しい陽気になり、からだが追いついていかないですね。外の風景も秋らしくなってきました。コスモスの揺れる姿に季節を感じ、やわらかなピンク色に心が癒されます。

(左から)クロード・モネ《雨を浴びるポプラ並木》1891年 油彩、カンヴァス 93×73.5cm 国立西洋美術館(松方コレクション)/葛飾北斎《富嶽三十六景 東海道程ヶ谷》天保元-4年(1830-33)頃 横大判錦絵 ミネアポリス美術館 Minneapolis Institute of Art, Bequest of Richard P. Gale 74.1.237 Photo: Minneapolis Institute of Art /葛飾北斎『北斎漫画』十一編(部分) 刊年不詳 浦上画堂 / エドガー・ドガ《踊り子たち、ピンクと緑》1894年 パステル、紙(ボード裏打) 66×47cm 吉野石株式会社(山形美術館寄託)

会場: 国立西洋美術館 [東京・上野公園] (〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-7)
会期: 2017年10月21日(土)~2018年1月28日(日)
開館時間: 午前9時30分~午後5時30分 ※入館は閉館の30分前まで ※金、土曜日は午後8時。
ただし11/18は午後5時30分まで 休館日: 月曜日(ただし1/8は開館)、12/28~1/1、1/9
観覧料金: 一般1,600円 / 大学生1,200円 / 高校生800円 ※中学生以下は無料 ※心身に障害のある方及び付添者1名は無料(入館の際に障害者手帳をご提示ください)※2018年1月2日(火)~8日(月・祝)は高校生無料観覧日(学生証の提示が必要)
公式サイト: <http://hokusai-japonisme.jp> お問い合わせ: 03-5777-8600 (10/ダイヤル)